



ネクサス通信



Y様邸 * 岡山市東区 ■ フルリノベーション

フルリノベーション！！こんなに変わるんです！！前号を編集している時点では、完成写真はもう少し後にお披露目する予定だったのですが…「こんなに変わるの!？」と衝撃的だったので、この感動を皆さまにも☆

- 01：内装（リノベーション後）
和室2つ分をLDKへと変更しました。南側の窓から入る昼光を活かす白い壁と、リビングのアクセントウォールのコントラストがとても美しいですね。つながった空間でありながら、壁や天井の色を変えることで用途の異なるスペースとして自然と認識できるようにになっています。
- 02：内装（施工前）
リノベーション後の写真とほぼ同じ角度で撮影した施工前の状態です。写真奥側の広縁を活かしてセカンドリビングにリノベーションしています。純和風の間取りが劇的な変身を遂げているのがよく分かりますよね！
- 03：外構（施工前）
様々な種類の植物が植えられていたようです。きちんと手入れされていた頃は、趣きのあるステキなお庭だったのかな…と想像してみたり。ただ、このままでは…ね（汗）
- 04：外構（リセット）
まずは外構のリセットから。地中に埋まっている配管や既存の建物などを破損しないよう注意しながらの作業になります。すごくスッキリしましたね！まるで魔法のよう！広がったようにも感じるから不思議です♪

Editor's DIARY

日本の各地で様々な災害があり、その度にニュースで映像を見て「怖いな…」と思いながら、どこかで自分には関係のない出来事のように感じていたことを痛感しました。高梁川が氾濫した場合、ハザードマップによると我が家は浸水エリアにあります。あの夜も深夜に家族で避難しました。浸水の不安に加えて、面識のないご家族の隣で落ち着けず（お互い様ですが）、朝にはぐったり。自宅に戻った時に「帰れる家があるって本当にありがたい…」と強く感じたのを覚えています。幼い子供達も避難所では遊んだりしゃいだりを我慢していたので（我慢しきれず周囲の方にご迷惑をおかけしてしまった事もありますが…）、避難生活が続いている方々のご苦労を考えると心が痛みます。

子供が幼稚園に通い出して始めたLINE。お母さん達のネットワークすごいです。浸水翌日から支援物資のトラックの情報やら注意情報などが共有され、子供がいるお母さんたちにも出来る支援を実施していました。全国から駆けつけてくれていた消防の車両もたくさん見ました。ありがたく思わず手を合わせていました。今でも通勤の際には「災害支援」と書かれた車両をたくさん見かけます。これからも続く復興、自分に出来ることは小さなことだけど、出来る支援を続けていきたいです。

株式会社 ネクサスアーキテクト

〒713-8113
岡山県倉敷市玉島八島 1384-2
☎ 086-441-0650
✉ info@nexus-architect.com
<http://nexus-architect.com>



西日本豪雨災害により
被害に遭われた皆様に
心よりお見舞い申し上げます
一日も早い復興をお祈りします

おうちコラム vol.28 豪雨災害 ～はじめての一步～

とうとう！！

浸水被害からの生活再建の手引き

〔施工事例〕岡山市のフルリノベーションをご紹介
施主様の暮らしにカスタマイズされた住まいは必見！



先日の西日本豪雨災害に際しまして、
被災されました皆様、また ご親族ご友人が被害に遭われました方々に 心よりお見舞い申し上げます。



この度の未曾有の災害を目の当たりにして、言葉を失いました。
いつも通る道、いつも立ち寄るコンビニや飲食店の風景が一変。

流れ込んでいた水が引いた直後の真備町へ入り、その日から5日間、
お客様や友人、いつもお世話になっている協力業者の所をまわり、
水に濡れた床や壁の解体や被災ゴミの片付けなどのお手伝いをさせていただきました。

そんな中、被災されたある方が こう仰いました。

『片付けも有難いんだけど、とにかく情報を下さい。
これから何をどうしていいのか…。お願いします。』

私は「こんな時こそ人手が必要」と、そのことばかり考えていました。
しかし、そこに住まれている方々が復興に向かって一歩ふみ出すには、
人手だけでなく“情報”も必要 だったんです。

その日の夜、今の段階で必要な情報を集めるためインターネットで検索していると、
ある一つのサイトにたどり着きました。それが〈震災がつなぐ全国ネットワーク〉です。

このネットワークは、阪神・淡路大震災を機に共生型社会の大切さに気づかされた
全国に点在する人々が、互いの違いを認め合いながら、過去の災害が教えた課題を
ともに学び、提言し、今後の緊急時には 共に動くこと を目的とした 組織です。

過去の災害などから得た教訓をもとに、万が一これから先に被災してしまった時に役立てるよう、様々な情報をまとめてくれています。
そして、ここで得た情報と倉敷市が発信した情報をまとめ、被災されたお客様や友人、関係各所に届ける事が出来ました。

- ・まず片付ける前にしなければならない事
- ・各自治体や行政への手続きの事
- ・除菌・消毒の事など

もしもの災害の時とても重要な事ですが、
大半の方が知らないまま過ごされています。

実際に聞いた ある年配のご夫婦のお話です。

ご夫婦のお隣のお宅には、片付けの手伝いに沢山のボランティアの方が来られていましたが、
そのご夫婦のところには一人も来られなかったそうです…。

きっと誰もが『ボランティアは派遣されて来てくれるもの』と思っておられると思います。
しかし実際は、被災者の方から各自治体（今回の場合は倉敷市や高梁市など）へボランティアの要請をしなくては派遣されません。
こういった情報を知っているかないかで、もしもの時の初動が大きく変わるかもしれません。
この度の教訓を忘れないためにも、改めてもう一度整理しておきましょう。

復興までにはまだまだ多くの人材や物資、時間、資金などが必要になると思います。
私たちもそれぞれの立場で、それぞれが出来る支援していくことが大切だと感じています。

※震災がつなぐ全国ネットワーク … <http://blog.canpan.info/shintsuna/>



ワールドカップ
とうとう終わっちゃいましたね…
毎日毎日、睡眠不足でしたが気持ち的にはとても充実した日々でした！
だから、ポッカリと心に穴が。。重症ですね（笑）



ワールドカップは終わってしまいましたが、怪我でずっとリハビリ中だった次男くん。
やっとやっと復帰が秒読み段階に入ってきました～！！
（まだ、リハビリメニューですが(>_<)）

それでも少しずつ対人メニューが入ってきたりで楽しそうです！
早くピッチを駆け回る姿が見たいですが、焦りは禁物なので、ゆっくりゆっくりです。私は、引き続き食育を頑張ります！
厳しい暑さが続きます。皆様もお体をお大事になさってください(人^人)/



浸水被害からの生活再建の手引き

非公認マスコット
Mr. TEKUTO



震災がつなぐ全国ネットワークで「水害にあった際にすることの一般的な手順」が掲載されていました。
何をすべきなのか、どんな事に注意すべきなのか、詳細な説明やイラストで とても分かりやすく記載されています。
ネクサスアーキテクトのお客様をはじめ、多くの人に知っておいてもらいたい内容でしたのでご紹介します。

個人的に「お！？」と気になったのが、床下浸水のような、パツと見 被害は無さそうな場合にも注意すべきだということ。
暮らしの基盤になる「住まい」だからこそ、「つくる側として」きちんと再建していきたいところです。

1 被害状況を写真に撮る

被害の様子がわかる写真を撮る
家の外をなるべく4方向から、浸水した深さがわかるように撮る
室内の被害状況もわかるように撮る

2 施工会社・大家・保険会社に連絡

家の施工会社や大家に、家が浸水したこと、浸水のおおよその深さを伝える
火災保険や共済に加入しているときは、担当者にも連絡する

3 罹災証明書の発行を受ける

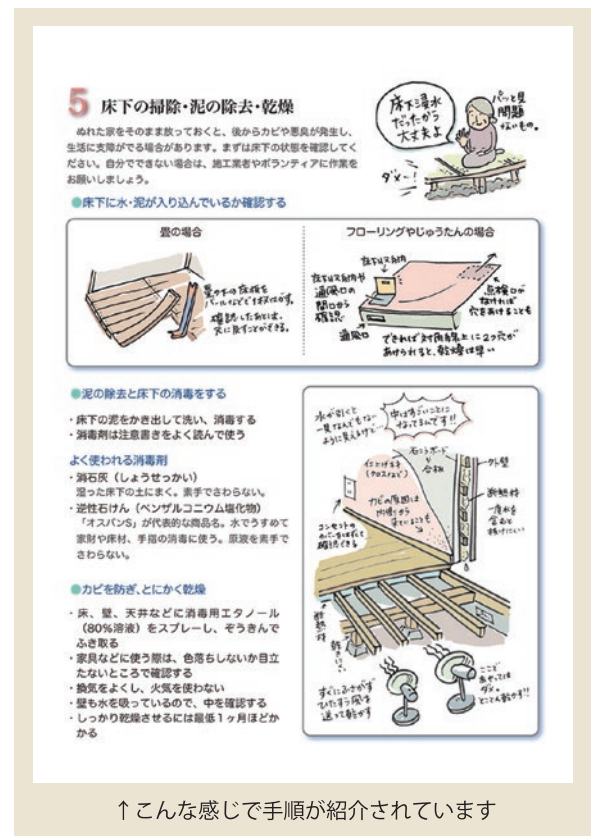
市役所・町村役場に浸水したことを申し出る
被害認定の調査を受ける

4 ぬれてしまった家具や家電をかたづける

かたづけはゆっくり
作業のあとには手指を消毒
ごみ捨てのルールはふだんと異なる
ボランティアにお願いします

5 床下の掃除・泥の除去・乾燥

床下に水 泥が入り込んでいるか確認する
泥の除去と床下の消毒をする
カビを防ぎ、とにかく乾燥（あせらずトコトン）



さらに「掃除するときの服装」「復旧するまえに確認すること」もイラスト付きで詳しく紹介されています。
詳しくは「震災がつなぐ全国ネットワーク」のホームページをご覧ください。